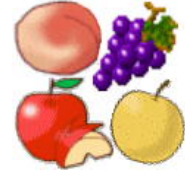




平成26年度 果樹情報 第18号

(平成27年3月3日)



福島県農林水産部農業振興課

1 気象概況（1～2月：果樹研究所）

1月の平均気温は1.5℃で平年より0.1℃高く、2月は2.0℃で平年並の状況でした。降水量は1月が44.5mm、2月が28.0mmで各々平年の73.4%、54.5%でした。

2 発芽予測（果樹研究所）

今後の気温が平年並に経過した場合、もも「あかつき」の発芽は3月27日で平年より1日遅く、なし「幸水」の発芽は4月3日で平年並、りんご「ふじ」の発芽は3月26日で平年より3日早いと予測されます。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響を大きく受けるため、今後の気温の推移により変動する可能性があるので注意しましょう。

表1 発芽予測日（平成27年3月2日現在）

	発芽日		今後の気温経過		
	昨年	平年	平年並み	2℃高い	2℃低い
もも あかつき	3月26日	3月26日	3月27日	3月23日	4月1日
なし 幸水	4月2日	4月3日	4月3日	3月28日	4月9日
りんご ふじ	3月28日	3月29日	3月26日	3月21日	4月2日

注) 発育速度（DVR）モデルによる発育予測。平年は1981～2010年の平均値。

東北地方1か月予報(仙台管区气象台 平成27年2月26日発表)

今後の気温経過は、1週目（2月28日～3月6日）は平年より高い確率が50%、2週目（3月7日～3月13日）は高い及び平年並の確立が各々40%、3～4週目（3月14日～3月27日）は高い確率が40%となっています。

3 栽培上の留意点

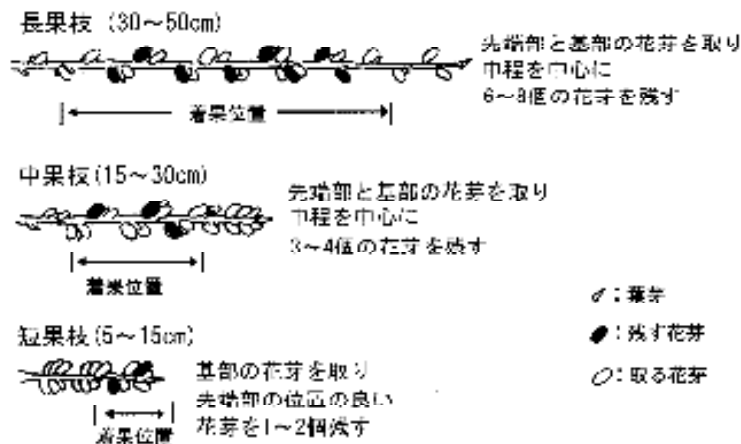
(1) 管理作業の計画的実施

発芽予測日と気象予報を考慮し、せん定やせん定枝処理、誘引、休眠期防除等の管理作業は、遅れないよう計画的に実施しましょう。

(2) ももの摘らい

摘らい作業の適期は3月上旬から発芽直前頃までです。

発芽期以降は葉芽を痛めやすく、花らいも離脱しにくくなるため、作業能率が極端に低下しますので、計画的な作業を心掛けましょう。



4 病虫害防除上の留意点

休眠期の防除は、温暖無風の日を選び発芽前までに確実に実施しましょう。

(1) りんご

近年、腐らん病の発生が多くなっています。休眠期の防除を徹底するとともに、発病部位は完全に削り取りましょう。また、うどんこ病のボケ芽等は、せん定の際に除去し、伝染源の密度の低下を図りましょう。

(2) もも

縮葉病やハダニ類、カイガラムシ類等に対する休眠期の防除を徹底しましょう。また、コスカシバの発生が多い園では、縮葉病の防除後に樹幹部および主枝を対象として防除薬剤を手散布しましょう。

(3) なし

黒星病に対する休眠期の防除は、発芽10日前までに完了させましょう。また、同病の枝病斑が見られる場合は、芽基部感染が多くなるおそれがありますので、せん定や誘引の際に除去を心掛けましょう。

(4) ぶどう

晩腐病の防除のため、休眠期の防除を徹底するとともに、巻きひげや結果母枝の枯死部等を丁寧に除去し、越冬菌密度の低下を図りましょう。

せん定枝および伐採樹の取り扱いについて

せん定枝や伐採樹の野外焼却は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」において、原則禁止されていますので適切に処理しましょう。

病虫害の発生予察情報・防除情報

病虫害防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7339
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html>